

はまごう小だより

自分が大好き！あなたが大好き！！

伊勢市立浜郷小学校
令和3年3月15日
発行者 平生 理恵

第27号

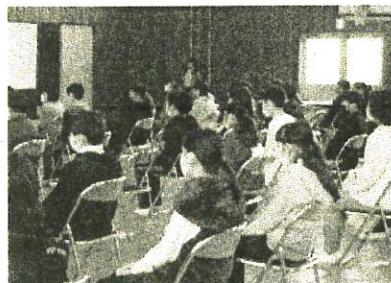
来年度に期待を込めて、まとめをしていきます。

3月14日(日)、東京で桜の開花が観測されました。これは統計開始以来、最も早い観測となったそうです。もう、春はそこまで来ています。

今、小学校では、1~5年生においては年度のまとめをし、6年生においては小学校生活のまとめをしています。3月の行事予定では、「委員会最終」・「図書貸し出し最終」・「給食最終」のように、“今年度最後の…”といった表記がされています。3月12日(金)には、大掃除とワックス掛けも行い、教室の整理も始まっています。子ども達は、早くも新しい年度に思いを馳せているのではないでしょうか。私たち職員も、今年度、新型コロナウイルス感染拡大防止のためにさまざまな制約が多かった学校生活が、今より安心した生活に戻ることを願っています。

卒業に向かって、頑張っています！

3月2日(火)から卒業式の練習が始まりました。5年生の子ども達がきれいに整えてくれた卒業式会場となる体育館に6年生の児童が集まりました。卒業式練習の初日は、6年生担任の先生から、一通りの卒業式の流れを聞いた後、座り方や立ち方の指導を受けていました。授業の最後には6年生担任の3人の先生が、卒業式に向けての心構えを伝えました。少し緊張した面持ちで練習に臨んでいる6年生を見て、卒業式当日の立派な姿が頭に浮かびました。

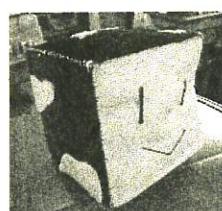
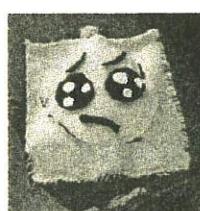


3月12日(金)には卒業式の総練習を行いました。そして、19日(金)は卒業式当日です。6年生の子ども達が浜郷小学校に登校する日はあと4日です。

卒業生の皆さん。残された小学校生活、最後まで楽しい思い出を増やしていって下さいね。

楽しい思い出をありがとう！

6年生の子ども達は家庭科の授業で布製のサイクロを作りました。このサイクロづくりにはある目標がありました。それは『最高学年として1年生を楽しませてあげよう！』ということでした。例年に比べて6年生と1年生の交流が少なくなっていたので、今できることで何か楽しい交流はないかと考え、この活動になったそうです。自分たちで考えたルールを分かりやすく説明し、楽しい時間を過ごしていました。

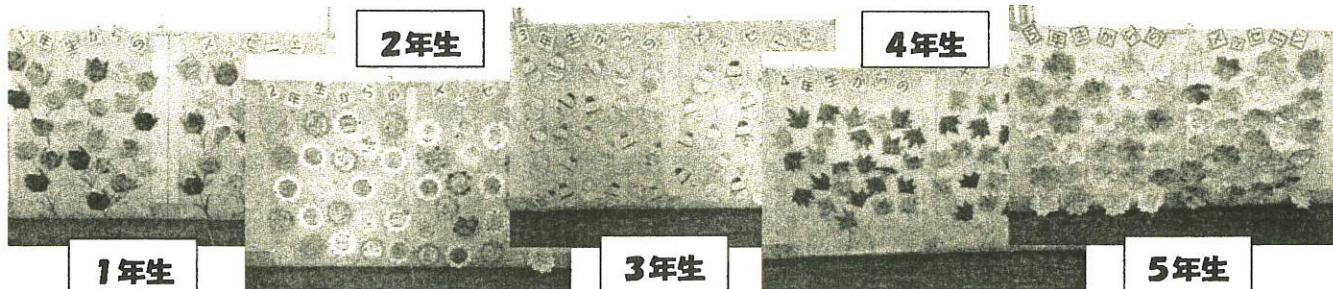
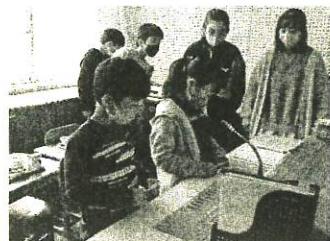


「とても楽しかったよ。6年生のお兄さん、お姉さん、ありがとう！」

6年生への感謝のメッセージが放送されています。

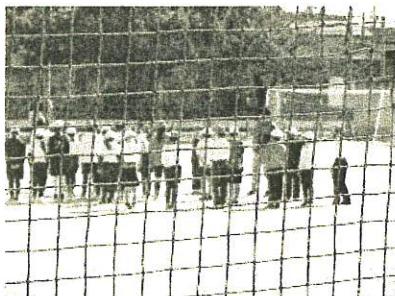
卒業式が段々と近づいている中、給食の時間に流れるお昼の放送で、1～5年生から6年生へのお祝いと感謝のメッセージが放送されています。メッセージを伝えるのはクラスの代表の子ども達ですが、メッセージの内容はクラスの子ども達みんなからのものです。

「一緒にドッジボールをして遊んでくれた。」「けがをしたとき、保健室まで連れていってくれた。」「わからないことをいろいろ教えてくれた」等々、思い返せば、6年生のお兄さんお姉さんにいろいろお世話になっていたことがあります。一人ひとりからの思いは、卒業式会場となる体育館に掲示されています。



黙祷を捧げました。

10年前の3月11日午後2時46分、巨大地震が発生し、東北や関東の沿岸に高さ10メートルを超える津波が押し寄せました。この事により、多くの方が命を落としたり、住む所を失ったりしました。東日本大震災の発生から10年目の令和3年3月11日、浜郷小学校でも全児童・全職員で、亡くなられた方に黙祷を捧げました。



浜郷小学校の在学生は、年齢的にも東日本大震災のことは記憶はないかも知れません。しかし、この10年の間、テレビや新聞で何度も何度もこの震災の事が報道されています。報道等を受け止め、しっかり心にとどめてほしいと思います。

「消防庁長官賞」受賞おめでとうございます！！

3月7日（日）の中日新聞に、浜郷地区まちづくり協議会が「第25回防災まちづくり大賞」において、「消防庁長官賞」を受賞された記事が掲載されました。おめでとうございます！！

浜郷地区まちづくり協議会では、地域の防災リーダーの育成に取り組み、災害に強いまちづくりに継続的に取り組んでおられます。平成25年より「防災3ヶ年計画」を策定し、防災・減災対策を最重要課題として「自分たちで助け合い災害から命を守る」をスローガンに活動を続けてみえます。浜郷小学校では、これからもまちづくり協議会さんのご協力を得て、HUGや避難訓練をはじめとし、命を守る防災教育に取り組んでいきます。

